

令和6年竹田市教育委員会第12回定例会 会議録

- 1 開催日時 令和6年12月4日（水）午後3時1分から
- 2 開催場所 竹田市役所2階庁議室
- 3 出席委員

教育長	志賀 哲哉
1 番委員	吉野 聖子
2 番委員	岡 茂樹
3 番委員（教育長職務代理者）	甲高 幸一
4 番委員	進 みづほ
- 4 欠席委員 なし
- 5 本定例会に説明のため出席した者の職・氏名

教育総務課長	羽田野京子
学校教育課長	渡邊 幸美
生涯学習課長	藤島 勲
まちづくり文化財課長	佐藤 俊郎
竹田中央学校給食共同調理場長	甲斐 正寿
歴史文化館次長	櫛浦 幸徳
事務局員 教育総務課課長補佐	古澤 邦利
- 6 議事日程
 - (1) 会議録の承認 第11回定例会会議録
 - (2) 教育長報告
 - (3) 審議事項
 - (4) 報告事項
 - (5) 審査事項
 - (6) 協議事項
 - ・ 令和6年度竹田市教育長・教育委員学校訪問意見交換記録について
 - (7) 連絡事項
 - (1) 12月幼・小・中行事予定表
 - (2) 12月教育委員会関係日程（予定）表
 - (3) 今後の主な予定
 - (8) その他 各課から
 - (9) 教育委員からの提案・意見
- 7 議事次第 別紙のとおり

〔開会時刻：午後 3 時 01 分〕

羽田野教育総務課長	委員の出席状況でございます。教育長及び委員 4 名出席、傍聴者はいらっしゃいません。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 3 項の規定に基づき、本委員会が成立していることを報告いたします。
志賀教育長	それでは、ただいまから令和 6 年第 12 回定例会を開会します。第 11 回定例会の会議録はすでにお配りしていますが、質疑、修正等はありませんか。
委員	（「はい。」の声）
志賀教育長	それでは会議録を承認願えますか。では、会議録に署名をお願いします。 （署 名）
志賀教育長	次に、教育長報告をお願いします。教育総務課長。
羽田野教育総務課長	前回の定例会以降、教育長が出席しました会議・諸行事等について報告いたします。11 月 5 日、教育委員会第 11 回定例会。7 日、第 2 回大分県市町村教育長会議兼大分県教育情報化推進本部会議。9 日、竹田支援学校の令和 6 年度なかよしまつり。10 日、城原小学校 150 周年記念式典。11 日、第 60 回記念県美術展日洋彫工展受賞報告、及び竹田市祖母山麓体験交流施設「あ祖母学舎」改修工事に係る設計委託業務公募型プロポーザル審査会。12 日、第 73 回竹田市日本語弁論大会。14 日、教育長・教育委員学校訪問、及び 15 日にかけて全国史跡整備市町村協議会臨時大会。18 日、教育長・教育委員学校訪問、及び大分県養豚協会学校給食用豚肉贈呈式。19 日、第 9 回校長・所長会議、及び竹田市男女共同参画推進大会。21 日、陸上地域クラブ移行に係る協議、第 2 回管内教育長会議、及び第 11 回九州なでしこ MIYAZAKI カップ九州大会出場報告。22 日から 23 日にかけて、第 21 回 B & G 全国教育長会議。24 日、第 78 回竹田市駅伝競走大会。25 日、第 1 回竹田市いじめ問題専門委員会。26 日、第 2 回久住高原農業高校学校運営協議会。27 日、世界かんがい遺産登録学校教育イベント。28 日、定例課長会議、及び竹田市教育支援委員会。29 日、竹田市議会第 4 回定例会本会議、直入小学校 P T A に統合目標年度変更の説明、及び全国障害者スポーツ大会受賞報告。そして、本日 12 月 4 日、教育委員会第 12 回定例会。以上です。
志賀教育長	教育長報告に対する質疑等ありませんか。 甲高委員。
甲高委員	11 月 21 日に行われております陸上地域クラブ移行に係る協議ということで、内容等教えていただければと思います。
志賀教育長	学校教育課長。
渡邊学校教育課長	はい。来年度の全国の中学校体育連盟の各競技から、中体連主催の大会への出場条件とか出場資格とかいったものが、秋に各競技におりてきました。その中で、今、地域クラブ移行に向けて、全国的に取り組んでいることと、陸上の競技において、ちょっとそぐわないなというような条件等があり、そこについて、

	中体連の情報が行ったり来たりしているので、今の段階で、どの情報が正しいのかという確認と、あとそれを受けて、まずは来年度の、陸上の地域クラブと各学校の陸上部の運営をどうして行くかということ、あと、竹田市中体連主催の陸上大会や、駅伝大会の開催の有無、大会の持ち方について、どのようにしていくかということの中体連の事務局と教育委員会とで、協議をして、来年度はこういう形で、行っていこうということを確認しました。ただ、この日は中体連の事務局と教育委員会との話でしたので、この後中体連の評議委員会等で確認をして、各学校の意向等を聞いて決定していくという、その打ち合わせの会でした。
志賀教育長	よろしいでしょうか。
甲高委員	はい。
志賀教育長	他にありませんか。 岡委員。
岡委員	25 日に開かれた第 1 回竹田市いじめ問題専門委員会についてなんですけど、これはいわゆる竹田市のいじめ防止基本方針の中に謳われている附属機関としての専門委員会ということでもいいですか。そうである場合、この委員会いわゆる第三者委員会の機能も兼ねるという認識でいいですか。この委員会のメンバーがどのような方がされていらっしゃるのかということと、あと今回の会議の内容などちょっと教えていただけるとありがたいです。
志賀教育長	学校教育課長。
渡邊学校教育課長	はい。メンバーに関しては、医師、それから弁護士、それから保護士さん等、竹田市に関わっている第三者ということで、お願いしております。内容については、いじめの重大事態ととらえられる事案が発生した際の組織としてのあり方だとか、実際の第三者委員会の役割の内容、改善・解決に向けて、その後、どうしていくかという流れを確認いたしました。
志賀教育長	よろしいでしょうか。
岡委員	はい。今回第 1 回ということで、今回開かれたそのタイミングは、何か通達を受けたからという感じですか。
志賀教育長	学校教育課長。
渡邊学校教育課長	はい。本来、もう少し早い時期にするべきでしたが、人選等、それから第 1 回目ですので、ぜひ委員の皆さんが全員そろう日ということで、日程の調整にちょっと時間がかかりまして、少し遅い時期になってしまいました。
志賀教育長	よろしいですか。
岡委員	はい。

志賀教育長	他にありませんか。 進委員。
進委員	11 月 27 日の世界かんがい遺産登録学校教育イベント、これに荻小学校の子どもたちも発表したと思うんですが、どんな感じだったかを少し教えていただけたらと思います。
志賀教育長	学校教育課長。
渡邊学校教育課長	はい。荻小の子どもたち、それから祖峰小の子どもたち、そして城原小の子どもたちが、社会科や、総合的な学習の時間で学んでいる自分たちの住む地域の水利だとか、水利に関わって尽力された方々のご紹介だとかを、プレゼンをしてくださいました。あわせて、農林整備課の方が、世界かんがい遺産の登録に向けて今行っていること、もしくは世界かんがい遺産は、こんなに貴重なものなんだというようなお話もしてくださって、全市の 4 年生 5 年生 6 年生の 400 名が集まって、その学習発表会と、世界かんがい遺産の登録に向けての概要、内容を子どもたちにも伝えたという会です。
志賀教育長	よろしいでしょうか。
進委員	ありがとうございます。とても張り切って準備をしていたと聞いたので、行きたかったんですが、行けなくてどんな感じかを聞いたかったので、ありがとうございました。
志賀教育長	その他、ないでしょうか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	それでは、次に移ります。本日の審議事項ありません。また、報告事項もありませんので、協議事項について、学校教育課長お願いします。
渡邊学校教育課長	はい。10 月から 11 月にかけて行われた教育委員会の学校訪問についての記録を、今日の資料が膨大になっていますが、あげております。5 日間の学校訪問、誠にありがとうございました。各学校の特徴的な取組や重点、それから教育委員さん方からの質問とそれに対する回答。また、お褒めの言葉や課題について触れていただいた点等をまとめております。今回の訪問で頂いたアドバイスやご意見をもとに、各学校、調理場、支援センターが、課題の改善や解消に向けて、取り組みをさらに前に進めていきます。学校訪問以降も各行事等で、各学校等を訪問された際に、進捗の状況をご確認いただくとともに、さらにご助言、ご意見いただきますようお願いいたします。
志賀教育長	はい。では、学校訪問のまとめが出されていますが、これはもうお読みいただいて、何か修正加筆等があれば、連絡いただくということでよろしいでしょうか。

委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	それでは、次に連絡事項について、教育総務課長、説明をお願いします。
羽田野教育総務課長	はい。連絡事項（１）、12月の幼稚園・小・中学校の行事予定表につきまして、資料の２ページをご覧ください。既に終わっている行事もございますが、12月２日、白丹小の校内持久走大会。３日、豊岡小、都野小の校内持久走大会、及び竹田幼稚園の由布院の森号歓迎。５日、南部小の校内持久走大会。６日、祖峰小の校内持久走大会、及び竹田幼稚園の避難訓練。７日、竹田中・竹田南部中・緑ヶ丘中、直入中の校内強歩大会。10日、久住小の避難訓練。13日、久住小の校内ロードレース大会。15日、祖峰小のふれあい餅つき大会。18日、竹田南部中の避難訓練。19日、直入小の火災避難訓練。20日、白丹小の餅つき大会、及び南部幼稚園の避難訓練。21日、白丹小学校開校150周年記念神楽公演。24日、小中学校の２学期終業式。 続いて、次のページ、３ページをご覧ください。12月の教育委員会関係日程（予定）表でございます。本日、12月４日、教育委員会第12回定例会、及び竹田高校山岳部出場報告。５日から６日にかけて、議会本会議の一般質問。７日、歳末助け合いチャリティーショー、及び直入中学校PTAに統合目標年度変更の説明。11日、議会本会議、及び予算特別委員会、及び城原小PTAとの意見交換会。12日、第10回校長・所長会議、及び労働安全衛生委員会。13日、久住小学校PTAへ白丹小との統合説明会、及び竹田特別支援教育振興協議会振興大会。15日、第16回雪っこカーニバル in 久住。16日、教頭会議。17日、竹田市議会第4回定例会社会文教常任委員会、及び竹田中学校「3提言研究発表会」。18日、全中ソフト竹田市実行委員会設立総会。20日、議会本会議、及びサフラン終業式。24日、２学期終業式、及び県連行政交渉。25日、定例課長会議。27日、仕事納め式。1月４日、第48回相良慶隆杯新春マラソン大会。7日、新年互礼会。8日、３学期始業式。10日、教育委員会第1回定例会、及びサフラン始業式。 資料１ページに戻っていただきまして、（３）今後の主な予定です。①令和7年新年互礼会は、1月7日（火）、13時30分からグランツたけたで行われます。後日、総務課からご案内をいたします。②1月10日（金）15時から本庁議室にて令和7年の教育委員会第1回定例会を開催いたします。③令和7年竹田市二十歳の集いは、1月12日（日）、13時からグランツたけたにて開催です。生涯学習課から後日ご案内いたします。④第2回定例会は、2月5日（月）15時から、同じく本庁議室で開会の予定であります。新年は、明けて早々に予定が入っておりますが、どうぞよろしくお願いいたします。連絡事項につきましては以上でございます。
志賀教育長	質疑等ありませんか。 連絡事項についてよろしいでしょうか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	それでは、各課からお願いしたいと思います。まず、教育総務課長。
羽田野教育総務課	はい。教育総務課から、まず、11月29日に開催しました直入小学校PTAに

長

対する説明の内容について報告いたします。昨年直入小学校保護者を対象に意見交換会を行って以降、伺っていないことをお詫びし、現在までの経緯と、統合を進める理由について簡単に説明し、統合の目標年度が令和8年度に変更となったこと、統合検討委員会が開催された際には直入小学校のPTA会長と副会長も構成員として参加することになるので、直入小学校の意見を集約して参加してほしいことを改めてお伝えしました。保護者からは、検討委員会は傍聴できるのか、開催する際にはお知らせしてほしいという質問と要望、ほかの小さい竹田地域の学校から進めてほしいという意見がありました。検討委員会は公開で傍聴できること、開催の際は知らせることを回答しました。今週末の直入中学校のPTAでも同様にお伝えする予定です。

次に、城原小学校ですが、12月11日に、ほぼ2年ぶりの意見交換会を開催することになりました。新しい保護者の方もいらっしゃいますので、これまでの質問に対する回答や、統合することのメリットについて説明し、目標年度の変更についてお知らせする予定です。

12月13日には、白丹小学校の統合先の久住小学校のPTAでの集まりの際に、全保護者に対して統合についての了承を確認し、目標年度の変更についてお知らせすること、統合検討委員会の際には代表として参加いただきたいことを改めてお伝えします。

また、明日から行われる議会の一般質問では、阿部雅彦議員から竹田市教育大綱の方針について2つの質問を受けております。この件につきましては、教育長が答弁いたします。また、阿南智博議員から、児童生徒や市民が利用できる屋内プールの整備の検討についての質問がありますので、小中学校のプールの現状について1校1プールの維持は財政的に困難であることから、施設の整っている学校のプールで水泳の授業を行う拠点校方式が現実的ではないかと答弁したいと考えております。屋内市民プールの検討については生涯学習課長が答弁いたします。教育総務課からは以上です。

志賀教育長

渡邊学校教育課長。

渡邊学校教育課長

はい。学校教育課からは二点報告をお願いします。

一点目は、先ほども少し触れましたが、11月27日に開催した、「タケタのイロについてイロイロカタロー」についてです。「タケタのイロについてイロイロカタロー」では、3校の小学校の子どもたちが、社会科や総合的な学習の時間で学んだ地域の井路や水利について、グランツの大きな会場で、全小学校の4年生～6年生400名を前に、堂々とプレゼンしました。進行をTOSの藤村アナウンサーにお願いし、クイズを入れながら会場を盛り上げてくださいました。「竹田は農業がさかんな地域で、お米やお野菜がたくさん作られている今は、先人の偉大な労力と苦労の上にあるのだということに改めて感謝しなければならない。自分たちはこの偉大な水の施設を守っていかなければならないと思った」といった感想が子どもたちから述べられました。竹田市内の水利施設の世界かんがい施設遺産登録へ向けて、大きな後押しとなりました。

二点目です。明日から、議会の一般質問が始まります。学校教育課に対しては、児童生徒の読書習慣や読解力の状況と向上、電子書籍導入についての二つの質問が出されています。児童生徒の読書量としては、全国値に比べて高いこととその要因と考えられる取り組み、読解力については、全国値と比べて大きな差はないことと読解力向上の取り組みについてお答えいたします。電子書籍導入に

については、電子書籍のメリット・デメリットや費用対効果等の観点から、導入の可否について研究していくとお答えいたします。学校教育課からは以上です。

志賀教育長

藤島生涯学習課長。

藤島生涯学習課長

はい。生涯学習課からは三点の報告と議会について報告をしておきたいと思います。

一点目は、先ほど行事予定にも出ましたが、令和7年の二十歳の集いについてであります。1月12日の13時から、廉太郎ホールの方で開催をさせていただきます。教育委員の皆さんには、生涯学習課の方からご案内をさせていただきますので、ぜひご臨席をいただきたいと思います。今年については、対象者が154名ということになっております。また、昨年から行っていただいておりますドラムT A Oの凱旋コンサートは、1月5日ということで1週間前になっておりますが、そこに今年20歳の対象者を無料でご招待したいということです。ただ、1週間前ですので市外の方は、なかなか参加しにくいと思われます。帰省してちょうど1月5日までお休みして、一旦戻り再度帰省する。もしくは、お正月に帰省せずに二十歳の集いに合わせて帰ってくることもあろうかとは思いますが、全員に、案内を出したいと思っております。

二つ目は、第36回岡の里名水マラソン大会の募集を、11月11日から行っております。年が明けて1月17日まで募集をすることになっております。今年については、令和7年3月2日の日曜日に開催を予定しております。毎日電話がかかってきておりますので参加者について昨年より増えるのではないかと期待しておりますが、参加が増えるように努力をして参りたいと思っております。

三つ目として、竹田市直入総合運動公園のネーミングライツのパートナーを、来年度募集しようと考えております。直入総合運動公園の野球場、多目的広場、それからテニスコート、この3つを対象として、令和7年4月1日から令和10年3月31日までの3年間契約として、年間45万円を最低として、募集をしていきたいということで、今ホームページの方で広報をしているところであります。締め切った後2月上旬に、選定委員会を開催する予定であります。その前に、2月の教育委員会の議題として、提出をさせていただきますので、ご了承願いたいと思います。それから、竹田市総合運動公園のパートナーであります。来年以降についても株式会社丸福さんが、継続したいという申し出があります。継続については優先事項になりますので、これについても2月の議題として、提出をさせていただきたいと思います。

次に明日から始まる議会です。阿部雅彦議員から、生涯学習課に対して、スポーツツーリズムでの地域活性化はできないかということでのご質問があります。今多くの大学や高校、特にスポーツセンターでのラグビーなどは毎年盛んになっています。多くの方が今竹田市にいらっしやっただいております。その方たちをいかに宿泊、観光に結びつけるかということが大事だと思っておりますが、なかなか生涯学習課だけでは、宿泊観光というところには結びつきません。それぞれ各課と連携をしながら行っていく内容で回答させていただきたいというふうに思います。

それから児童生徒等のスポーツ環境についてということでのご質問があります。これについては、児童については今までスポーツ少年団で活動してきておりましたが、なかなか、児童数が減っているということで、スポーツ少年団活動もままならないということです。生徒については、今、学校教育課の方で、部

活動の地域移行ということで議論されておりますので、その辺を含めて、回答させていただきます。今後、竹田市としては総合型地域スポーツクラブの中で、いろんな種目を体験させ、内容を充実させるということでの、答弁をさせていただきます。

それから、教育総務課長の方からありました、阿南智博議員から市民プールの件が出ております。これにつきましては、総合運動公園の当初計画時には、体育館、プールは建設予定でありましたが、建設途中で、財政難ということで頓挫しております。その後、生涯学習課でアンケートをとって温水プールの要望が非常に多かったわけですが、その時も財政面で非常に厳しいということで、たち消えております。その後令和元年に、バイオマス燃料を使えないかということで、その時も話が盛り上がったわけですが、やはり約10億かかる施設でありますので、財政的には非常に厳しいという結果になっております。ランニングコストも年間3,000万程度かかる施設を、今の竹田市の中で出せるのかというところは非常に厳しいというふうに思っておりますので、そういう回答せざるをえないというふうに思っています。以上のような回答で、明日からの議会には臨みたいと思っております。以上です

志賀教育長

佐藤まちづくり文化財課長。

佐藤まちづくり文化財課長

はい。9月定例会で眞田補佐の方から、松本地区の岩瀬遺跡の竪穴式住居について説明させていただいたと思います。11月30日の土曜日に、松本地区ウォーキング大会に合わせて、地区の方約70名を対象に説明会を開きました。今年採用された坂本という職員が主に説明を行いました。大分合同新聞社の取材もありましたので、後日新聞に掲載されると思います。ただ、基盤整備の前の調査であるため、今後、農地に戻すこととなっています。教育委員会としましては、調査報告書を2年ほどかけて作成することになっています。

12月議会の方ですが、阿南智博議員の方から、市内の祭事について、神楽とか獅子舞、白熊について、現状がどうなっているかということと、中止になっている団体がどの程度あるかという質問、それから、今後の地区の祭事について、後継者等含めて、どう考えているかということで質問が出ています。回答としては、いつどこでどんな催事が行われているかということ、ホームページやSNSで発信して、多くの人に知っていただくことで、来ていただいて、関わる人のモチベーションが保てるようにして、後継者不足にも対応できるようにしたいという答弁をすることになっています。まちづくり文化財課からは以上です。

志賀教育長

櫛浦歴史文化館次長。

櫛浦歴史文化館次長

はい。歴史文化館です。遅れてしまいまして、大変申し訳ございませんでした。展示のご案内をさせていただきます。佐藤義美が生誕120年ということで、企画展を準備しております。

一つ目が、佐藤義美の作品からイメージしました木版画と押し花の作品の展示を、市民ギャラリーで12月1日から2月5日まで開催いたします。

二つ目が、特別展示室で12月21日から3月2日まで、「内弟子のみた義美作品」として準備しております。内弟子で義美記念館の建設に大変奔走されました稗田宰子さんが選んだ作品を中心に義美作品を紹介する展示を開催したいと

	考えております。よろしくお願いいたします。
志賀教育長	甲斐給食調理場長。
甲斐給食調理場長	はい。給食調理場です。調理場の方から二点ほどご連絡いたします。 まず、一点目は、小学校の調理場見学についてお知らせいたします。一応久住の方は11月まで終わっております。11月6日に白丹小学校・久住小学校の合同で1年生が訪問しております。それから、11月21日が都野小学校の1年生ということで、調理場見学が終わっております。それから竹田中央調理場の方ですけれども、11月15日に荻小学校の1年生、28日に城原小学校の1、2年生の見学がございました。あと、今月に入りまして、今後の予定ですが、12月10日に南部小学校の1年生、12月13日に菅生小学校の2年生が見学に来る予定でございます。 それと、12月の議会对応につきまして、先般、教育委員の皆様方にも審議をお願いいたしました、令和7年度からの学校給食費徴収条例の一部改正案につきまして、今回上程をしております。児童生徒を除く、学校、それから調理場等の従事者等につきまして、年額6,000円増というふうな改定案ということで、今回ご提案申し上げる予定でございます。調理場から以上でございます。
志賀教育長	図書館について羽田野教育総務課長。
羽田野教育総務課長	はい。図書館についても明日の一般質問において、後藤建一議員から、「図書教育において児童生徒の読書環境について」と「市立図書館の施設管理と課題について」の通告がされております。教育総務課では学校司書の配置状況、市立図書館の利用状況、植栽、駐輪場、本購入費、旧図書館施設についての質問があり、これに対してそれぞれの現状について説明を行い、今後は学校現場や関係各課と協議・調整をしながら、限られた予算の範囲で整備していく旨答弁する予定です。図書館からは以上です。
志賀教育長	ご意見、質疑等ありませんか。 それでは最後に、教育委員の皆様からご意見、感想等があればいただきたいと思います。 吉野委員からお願いします。
吉野委員	はい。私の方からは学校訪問のお礼と感想です。学校訪問に行かせていただいて本当にお忙しい中、先生方がよく準備し、対応していただいて、もう本当に感謝につきます。私は、学校運営協議会とかに何年か前から出たことがありますけど、そういう場で、学校の経営目標とかグランドデザインとかいう資料を見かけることがあります。他校のものも見比べる機会というのはなかなかないので、私は5年目になるんですが、本当に毎年どの学校でも、先生方がうちの学校の子どもたちに足りないのはどういう力か、つけさせたいのはどういう力か、ということを洗い出して、課題を絞ってチーム一丸となって力をつけさせるような工夫を、いろんな場面でしてくださっているというのを毎年実感しています。そして、事業内容だけでなく行事や教育活動の全般的なものを見直してくださって、中学校の方では発信力をつけるとか、高学年でもその表現力を磨くとか、いろんな力をつけさせていただいているんですが、そこも面白

くて、発信力を鍛えるためには表現力が要る、表現をするためには考える力が要る、自分の考えをまとめるためには書く力をつけないといけない。書く力をつけるためには、読む力や聞く力が要るということが、だんだんその段階が本当に濃いものだなというのがよくわかって、しかも今年はその前の段階として見る力が、バランスよく育っていないと情報を入手すること難しい、整理することが難しいということがわかって、都野小学校で実践されていた遊びの森の取り組みですとか、幼稚園と小学校の架け橋期の取り組みですとか、ああいうものが本当に、あらゆる力をつけるための土台に必要なことなんだなあということも思って、研究に取り組んでいただいていることに、心から感謝したいなというふうに思いました。それは、学校だけではやっぱり、時間が足りないのではないかな。それから、今新しく発見したことを、例えば、低学年で体幹を鍛える取り組みがたくさんできたとしても、高学年でもうすぐ中学生になろうかという子にどうやってフォローしていくとか、それから幼稚園や保育園でも取り組むのであればその未就学のもっと幼児期からできることがあるんじゃないのかとか、そこら辺まで、考えたいなと思ってぜひ、研究の成果が出始めたら、保健師さんとかにも情報共有して、竹田市の子どもを健やかに育てていけるようになったらいいなというふうに思いました。以上です。ありがとうございました。

志賀教育長

はい。ありがとうございました。
岡委員お願いします。

岡委員

はい。先ほどいじめ問題専門委員会について質問させていただきました。関連してホームページで竹田市のいじめ防止基本方針を読まさせていただいて、これだけ公開してくれていることに感謝しています。いじめ対策は、災害対策と共通している部分があるなと感じたのでちょっと私の事例を報告したいと思います。私は、かつて竹田医師会病院勤務時代に、担当として災害対策マニュアルを作ったことがありまして、自分なりに出来栄のいい充実したものが出来たと思っていましたが、その後、平成 24 年に実際竹田市で豪雨災害が発生し、被災者が出たときに、マニュアルのかかなりの部分で想定通りにいかなかったという経験があります。つい私たちは、マニュアルを作るときには、インターネットなんかで雛形を引っ張ってきて、文言だけ変更して「ハイ、できました」と対応してしまいがちなんですけど、実際に機能すると言われると日頃から事例検討とか訓練など意識的に行っていないとできないと痛感しています。最近、巷では SNS の影響で、親とか先生が目が届かないいじめの事案が後を絶たないです。幸い竹田市は今のところそのような事案はないというふうに理解しているんですけど、災害と同じでいつ起こるかわからないということを前提にして今回委員会を開かれたということで、こういうことはすごく大切なことだなというふうに思っています。関連して、先日、毎日新聞に神奈川県茅ヶ崎の小学校 2 年生の女の子が上級生数名から下半身をさわられたと訴えて、最終的に PTSD になったという記事を紹介したいと思います。学校側としては加害者と被害者の話に食い違いがあるということで、行政を含めてその中立性を担保するということを理由に、被害者の女の子の主張を全面的には認めていない。言い分の一致する点だけを事実として認定しようとしている間に時間がたって事態が悪化したということです。その記事の中で目についたのは司法面接の必要性ということです。被害を受けた疑いのある子どもからその事実を

中立的に聞き取る手法ということらしくて、いじめ調査に当たる学校などからの関心がすごく高まっていると。先生がいじめを認知したときも、司法面接に準じたような手法で信頼関係を築いて、当事者に多く語ってもらうことが有用というようなことを書かれていました。これは一例だと思うんですけど、トラブルが起こったとき、先生方はやっぱり何とか自分たちで対応しようとされると思うんですが、初期対応の段階で今言ったようなノウハウが少しでも頭にあると、先生方もより適切な対応ができて、関わる子どもたちへの本当のケアに繋がるんじゃないかなと思います。今後、先ほどいじめ専門委員会を含めていろんな機会を通じて、議論を深めていただきたいと思いますし、日頃から実効性のあるノウハウが学校や行政の現場でシェアできる環境を構築していくことが大事かなという気がしています。以上です。

志賀教育長

ありがとうございます。
甲高委員をお願いします。

甲高委員

はい。私からは三点ほどお話をさせていただきたいと思います。
まず初めに、先ほど吉野委員からありましたが、学校訪問についてということで、私は、2日間所用で欠席させていただきましたが、まず、課長が作成をいただきました意見交換記録というのは、全部は読んでいませんが、読ませていただいておりますし、内容については、しっかり見させていただいておりますし、すごくよくまとめていただいているので、参加はしていませんが、行ったつもりになって、拝読をさせていただいております。また、何かありましたら委員の皆さんにも聞いてみたいというふうに思っておりますので、大変申し訳なかったということと、次回ぜひ参加したいと思っておりますので、よろしくお願いを申し上げます。内容については、昨年、学校訪問をして一番感じたのは、昨年より改善をされているというのが印象に残っています。非常に昨年、皆さんが学校訪問で言われたことが、今年度、ほとんどの学校で、もう改善がなされているというのが1つ進んでいる。学校が進化している、子どもたちのため生徒のため、児童のために進んでいっているというのはよくわかったなあというのが私の一番の印象だったのかなあというふうに思います。
次に、11月24日に行われました竹田市駅伝競走大会についてということで、駅伝の醍醐味である、最終区で大逆転という非常に面白い展開になりました。私も審判員の1人としていろんな区間に行ってみたんですが、それももちろん本当に面白くて、ただ、選手同士が、冗談で俺のこと抜いたらいかんでとか、抜くけんとか、そんな冗談を交わしながら、非常に市民の交流の場でもある大会だなということ。そして、第78回という大会の数というか全国でも、こんなに続いている大会はないのかなと思う伝統のある大会に審判団の1人として参加をさせていただいたこと、スタッフとして、生涯学習課はじめ、皆さんと一緒に活動できたこと、本当にうれしく思いますし、またこれからも多くの皆さんが参加をしていただければ嬉しいなというふうに思います。最後になりましたが教育長も、お疲れ様でした。
最後に、竹楽についてということで報告させてください。まず、ここにおられる皆さんのお力をお借りして、竹楽が無事に終了させることができました。過去最高と同じぐらいの人出を記録しておりますし、竹田小学校、豊岡小学校、竹田中学校のボランティアの方の参加のもと、無事に成功することができました。私は1回ちょうど豊岡小学校、竹田小学校の児童さんと一緒にちよ

っとボランティア活動ができて、皆さん真剣に楽しそうに自分が作った竹灯籠を眺めたり、ろうそくを入れたり、点火したりしている姿がすごく印象に残りました。少しでも力を、多くの力、市民の皆さんの力で成り立っている竹楽ですので、今後ともご協力をお願いしたいというふうに思います。芸短大の学生も、もし時間があれば、歴史文化館に連れていこうかと思ったんですが、今回は天気が良すぎて連れていくことができませんでした。いいことなのですが、また、もし雨のときは連れていきたいと思っていますのでよろしくお願い申し上げます。感想になりますが、以上です。

志賀教育長

進委員をお願いします。

進委員

はい。甲高委員と同じような感じになるんですが、竹楽を今年何年かぶりに歩いてみて、今は竹田を出ている学生さんとか、社会人の方とかにたくさんお目に掛かりました。こんなにみんな帰ってきているんだなあ、この行事にというのでびっくりしたのと、あと、先だっつの市内駅伝でも、私の地元を、今は別府市に住んでいる後輩が走っていて、このために今日竹田に帰ってきたんだなあというのを思って、こうやってふるさとに帰るイベントや行事があるというのは、大事なことだなあ、みんな帰ってきてくれているんだなと思ってうれしかったです。竹田で働くとか定住するとかが難しくても、こういう行事やイベントでみんなが帰ってきてくれるというのはとても大切なことだと思ったので、人口が減って、高齢化は進んでいるんですが、こういう行事を竹楽は25回を50回、駅伝は78回も続いているから100回を目指して、みんなで続けて行くことができたらなあと思う感じがしました。

それと、11月19日に男女共同参画推進大会に参加しました。大分大学の松浦教授より、男女共同参画がなぜ必要かということで講演をいただいて、4月からご縁があつて委員になった私にはとても勉強になりました。その中で、アンコンシャスバイアス、無意識の偏見というのは誰しもあつて、その中ですぐに変えることは難しいんだけど、変わろうと思うことが大切というお話がとても印象に残っております。その後の反省会でも先生を囲んで、お茶会でざっくばらんにお話できたんですが、みんなで生きやすい竹田市にしていこうという意識が大切だということで、委員さん一同で決意を新たにしたところです。その中で、講師の松浦先生から、竹田市の男女共同参画プラン竹田は、とてもよくできているとお褒めいただいたので、皆さんにもお知らせしておきます。以上です。

志賀教育長

はい。皆さんから感想、或いは感謝も述べていただいてありがたい限りです。特に質問事項はありませんでしたが、何か各課からありますか。

いいでしょうか。

それではいくつか出されましたけど、竹田市駅伝とか美術祭、声楽コンクール、それから瀧音楽祭など、全部80回近く、76回とか78回になります。戦後間もなくに始められた行事やイベントが、竹田市には残っていて、本当に素晴らしいというか先人の努力というか、継続していくことが大事だというふうに思っています。

それでは以上をもちまして、第12回定例会を閉会いたします。

ありがとうございました。

<閉会>

[閉会時刻:午後 3 時 49 分]